

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公開番号】特開2013-221978(P2013-221978A)

【公開日】平成25年10月28日(2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-059

【出願番号】特願2012-91829(P2012-91829)

【国際特許分類】

G 02 B 6/00 (2006.01)

G 02 B 6/44 (2006.01)

【F I】

G 02 B 6/00 3 8 6

G 02 B 6/44 3 0 1 A

G 02 B 6/44 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

石英ガラスからなるコア層の外周に、硬化性樹脂組成物を硬化することにより形成されたクラッド層と、前記クラッド層の外周に接するように形成されたインク層とを設けた光ファイバであって、前記コア層と前記クラッド層との密着力が1.5g/mm~4.0g/mmである光ファイバ。

【請求項2】

前記インク層は着色顔料と紫外線硬化型ウレタン(メタ)アクリレート化合物とを含む組成物より形成されている請求項1に記載の光ファイバ。

【請求項3】

前記クラッド層を形成するための硬化性樹脂組成物は、フッ素原子含有ウレタン(メタ)アクリレート化合物、フッ素化されたポリエーテルを構造中に有する(メタ)アクリレート化合物、および(メタ)アクリレート化されたフッ素原子含有ビニル重合体から選ばれる少なくともいずれかの化合物を含有し、かつ前記クラッド層中のフッ素含有量が20~60wt%である請求項1又は請求項2に記載の光ファイバ。

【請求項4】

前記硬化性樹脂組成物は、下記一般式(1)で表わされるアルコキシシランを0.2~1wt%含有する請求項3に記載の光ファイバ。

一般式(1) Z-R-Si(X)<sub>3</sub>

(式中、Zは(メタ)アクリル基、メルカブト基またはエポキシ基を、Xは-OCH<sub>3</sub>または-OCH<sub>2</sub>H<sub>5</sub>を、RはC<sub>n</sub>H<sub>2n</sub>(n=1,2,3,4,5)を表す。)

【請求項5】

前記コア層と前記クラッド層との密着力が0.1g/mm~0.4g/mmである請求項1~請求項4のいずれか1項に記載の光ファイバ。